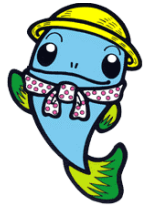


伏黒出張所タイムズ



Vol.34
H28.1.19発行

阿武隈川・荒川などの河川を管理しています！

第18回 あづま荒川クロスカントリー大会



12月13日に県北陸上競技協会等の主催で第18回あづま荒川クロスカントリー大会が開催されました。「とうほう・みんなのスタジアム」をメイン会場に、荒川沿いに整備されたクロスカントリーコースの他、地蔵原堰堤や大暗渠など荒川の土木遺産をコースとして走るのも本大会の醍醐味となっています。小学生からシニアランナーまで、荒川の自然を感じながら起伏に富んだコースを走り1,650人が完走されました。



男子フリーの部には伏黒出張所の前所長・郷家課長(写真①・ゼッケン2456)、永尾事務所長(写真②・2356)が参加。今年は例年よりも多くの職員が参加し、完走を目指して力走しました(写真③)。会場内のテントブースでは、福島河川国道事務所(写真④)もパネルを展示して事業概要等を紹介しました。



小学5・6年生の部で福島河川国道事務所の永尾事務所長がスターターを務めました。



地元の美味しい飲食物が揃うフードコーナーもあり、多くの方で賑わっていました。

甚大な洪水被害を軽減するための意見交換会を開催しました

9月に発生した関東・東北豪雨による被害を受け、国土交通省では全国の市町村長や堤防沿いにお住まいの方々の不安や懸念に応えるための「避難を促す緊急行動」を発表しました。

この緊急行動の一環として、福島河川国道事務所では11月20日から阿武隈川沿川にある市町の防災担当者、水防団員、自治会員らを対象に意見交換会を実施しました。洪水時の留意事項や堤防決壊時の浸水深、氾濫水の到達時間などを参加者の皆さんと確認しました。



(写真上)11月20日に大正樋門付近(伊達市梁川町)で行われた伊達市の意見交換会の様子。

(写真左)11月24日に行われた福島市の意見交換会では、現地確認後に南町排水機場で参加者の皆さんが避難場所等について確認していました。

阿武隈川にぎわいプロジェクト

荒川にサケの稚魚を放流しました

1月8日に「ふるさとの川・荒川づくり協議会」主催で、荒川にサケの稚魚を放流しました。阿武隈川漁業協同組合の協力のもと、約3,000匹の稚魚の提供を受け3年振りに行われました。

5年連続で水質日本一の認定を受ける荒川をふるりの川として、今回放流した稚魚は4年後に再び戻ってくるとのことです。多くのサケが遡上できるよう、引き続き河川環境保全にご協力ください。

当日は荒川づくり協議会、福島河川国道事務所や福島市役所の職員、地域住民など約50名が参加しました。



阿武隈川にぎわいプロジェクトは、震災前のような人々がにぎわう阿武隈川を取り戻し、地域や人々が阿武隈川と繋がりを築けられるようなイベントや企画に取り組んでいます。

河川敷のススキ等を萱葺き屋根に有効活用します



阿武隈川の渡利水辺の楽校に生育している萱(ススキ・ヨシ等)が、福島市民家園の萱葺き屋根の補修材として有効活用されることになりました。12月19日に地域の方々、福島河川国道事務所などの関係機関含め約80人が参加して、刈り取られた萱の結束・集積作業を行いました。

この作業は昨年2月にも行われ、今回で2回目の実施となります。



▲結束・集積された萱は乾燥させてから、萱葺き屋根の補修材として利用されます。

◀朝から気温が低く寒い日でしたが、参加者の皆さんは懸命に作業に励んでいました。作業後には冷えた体を温めてくれる豚汁の振る舞いもあり、大変好評でした。



阿武隈川の隈畔がイルミネーションで彩られました

福島市内の柳町・御倉町振興会が主催となり、信夫橋から天神橋の荒川・阿武隈川沿いと旧国道4号でイルミネーションの点灯が行われました。点灯期間は12月12日から1月12日までの1ヵ月間で例年、隈畔地区の冬の風物詩となっています。地域の方々の温かいおもてなしの心が伝わり、無数に輝く灯りは幻想的な雰囲気となって道行く人の目を楽しませてくれました。



12月12日に信夫橋たもとの柳稲荷神社前広場で行われた点灯式。多くの人が集まる中、カウントダウンとともに一斉にイルミネーションが光り歓声に包まれました。



渡利水辺の楽校 除染工事を行っています

環境学習の場として整備された渡利水辺の楽校は、震災後、放射線の関係から利活用できずにいました。地域の方々からの強い要望もあり、震災前のように活発に利活用して頂くために現在、除染工事を実施中です。工事期間中は安全確保のため付近の堤防を通行止めとさせて頂いておりますので、ご理解とご協力の程よろしく申し上げます。



《お問い合わせ》

国土交通省 福島河川国道事務所
伏黒出張所

〒960-0502 伊達市箱崎字中32-1
TEL024(583)3233 FAX024(551)2337
<http://www.thr.mlit.go.jp/fukushima/>

★川や堤防の異常・変状などを発見されたら、お手数ですがご連絡をお願いします。

